

平成 30 年度 芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高校美術 2 （日本文教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・美術Ⅰで習ったことを応用させて、より発展的な作品制作に挑戦してもらいます。
- ・幅広い要素を取り入れて扱うことのできる課題を設定し、作品制作をする中で自分らしい美術の楽しみ方を見つけます。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 発想や構想の能力	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	作品制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワーク制作の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 発言内容 鑑賞プリント
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の形	【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・内面を映し出す。美術における心理テスト。	○				a: 多様な美術の表現に関心を持って楽しみ、これからの学習に意欲を高めているか。	学習活動の様子
	創作感字	【絵画・彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 ・創作感字 ・ワークシートに考えた創作感字をたくさん書き出す。 ・気に入った文字を一文字イメージに合った字体とカラーでレタリング。 ・プレゼンテーション。	○	○	○	○	a: 文字の起源や成り立ちに興味を持って理解しているか。 b: アイデアをたくさん出して面白いと思える作品を作ろうとしているか。 c: バランスよくレタリング出来ているか。 選んだ字体とカラーは適切か。 d: 他の人のプレゼンテーションをよく聞いてそれを面白いと感じているか。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 発言 鑑賞プリント
	切り絵	【絵画・彫刻】 ・テーマに合わせて切り絵を制作する。	○	○	○		a: 集中力を持って課題を制作出来ているか。 b: 切り絵において効果的な構図作りが、アイデアを出して探されているか。 c: 切り絵の特徴を生かした作品作りが出来ているか。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品
2学期		・続き 【鑑賞】 ・プレゼンテーション				○	d: 自分の作品を人に伝えようと努力しているか。 作品意図を聞いて理解しているか。	発言 鑑賞プリント
3学期	彫刻	【絵画・彫刻】 ・自分の好きな形のアクセサリを作る。	○	○	○		a: 自分で作る目標を立てて制作出来ているか。 b: 面白いと思える形を考えて取り組んでいるか。 c: 丁寧に形を掘り出してきちんと処理出来ているか。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。